

【無料プレゼント】文末に書籍の無料プレゼントの案内がございますのでご確認ください。

第2章・・・・・・・・理念経営の基本的経営姿勢

＊＊180度経営姿勢を転換する時代が来ました＊＊

第4回

◆「先が読めない時代の経営戦略の考え方」

・コロナ禍は、オリンピックの無観客での開催と飲食店のお酒禁止で前例のない展開となってきました。益々企業間格差は広がり「衣・食・遊」の困難は続きそうです。行政の不手際やルールを守らない業者の取締り、学生を中心とした若者の協力度等は社会問題になってきています。

そうした情勢のなかでも、企業は収益性を確保しなければ、従業員への給与や仕入れも不可能になってきます。では、この変化とピンチをどのように切り抜けたらよいのでしょうか？

1. 変化をきっかけに、未来のために「種」を蒔く

(1) 蒔かぬ種は生えぬ・・・・・・・・努力はいつか必ず実る

どんなに厳しい時でも、来年のための種粃まで食べてしまっては、明日を生きるすべは在りません。

しかし、その種粃を食べなければ生命が繋げないかもしれませんが、企業経営においてお互いがビジネスでの必要性がある限り、つなげていく工夫をすれば、対策はあるはずです。あきらめてはいけません。

1) 不退転の決意で全力を尽く・・・・・・・・2匹のカエルのイソップ寓話

ミルクが入った壺がありました。そこに2匹のカエルがポトンと落ちました。落ちたカエルの行動は大きく違いました。

・1匹は、ミルクに呑み込まれたので、ゲロゲロと泣きながらもう出られないと諦めて出る行動をしないでミルクの中で死んでしまいました。

・もう1匹は、生きようと正に生命がけで、何とか出ようと「もがいてもがいて」一所懸命でした。するとかき混ぜられたミルクはチーズに変化していき、カエルは固まったチーズの上にのり、ピッヨンと壺の外に出られま

したとさ。メデタシ・メデタシ！

＊この寓話は、どんな時も希望を持って考働することが活路を開くためには必要であることを云っているのです。＊＊考働・・・考えて判断して仕事をする＊＊

２）大相撲の大関「照ノ富士」に学ぶ自己信頼と努力

・今、名古屋場所をやっており、照ノ富士と白鳳が共に全勝（12日目現

在）ですが、感動的なのは照ノ富士が地獄を見た幕下から這い上がって、横綱を狙っていることです。2年間の苦節の道のりで戦歴は立派なものです

・戦歴・・・・・・・・幕内優勝：4回．十両優勝：2回．幕下優勝：1回..

・ケガのため番付が下がるところまで下がり、超格下の者と相撲を取る位置になり、体が上手く動かないのでケガの養生をしながら徐々に慣らして、成績も上げて、ついに幕内まで戻り、そして優勝という華まで飾ったのです。

・特筆すべきは、本人が不退転の覚悟であったことはもちろんですが、周りの支援、特に2018年に奥さんと結婚して、影に日向に励ましてくれたことがあると観じます。正に福を呼んでくれる方であり、多くの支援者を呼び込んでいるのです。

・さらには、この逆境を通して酒豪であることによる弊害を克服して、糖尿病、肝炎、腎臓結石等の病気を制御して健康を管理していることです。

永く戦うには、生き抜くには大事なことで、体は資本でありスペアはないのですから・・・・・・・・・・

・そして、乱暴な身のふるまいであったことが、この逆境を乗り越えるのにあたり、克己心と人々への感謝を体得して忍耐強くなったことは、横綱昇進後に風格を与えてくれることしょう。もし、ケガにより挫折を経験しないで行っていたら無頼漢の風情で相撲寿命も短命に終わったかもしれません。

天の配剤により、一回りも二回りも人間が大きくなったと観じ敬愛を覚えます。

（２）逆境に鍛える…………「徳」が身に付くチャンス到来

・人生に勝利するとは「悠久の時を生きつらぬく幸福」を獲得すること、つまり精神的遺産の「徳」を積むことです。「徳」は生まれつき与えられたものではなく、生きてゆく過程において、身に付く後天的なモノと云われて、努力の賜物なのです。

人生の記念碑として残る大きな「徳」は逆境を乗り越えた時に生まれやすいと云われており、照ノ富士はその良い例とおもいます。

＊ ＊ 「理念経営実戦のすすめ」第 3 章-4 心と経営 ・ ・ 8 3 参照

<https://rinenkeieishi.net/media/index.html>

・逆境の時不遇を嘆いたり、他の人や環境のせいにして、自分を見失う人が沢山いますが、逆境を受け入れて、大いなる天意、天の意思を読み取ることが「徳」を生むのです。多くの企業をお手伝いして経営者の生きざまを見てきて、そして自らの経験からしてシミジミと観じいらいます。

1) 乗り越えられない課題は現れない

・逆境の時は、これでもか、これでもかと次々と修行の課題が出てきます。

出てくる理由は、魂が本来の使命を果たすためには、器が大きくなる必要があるからであり、言い換えれば大きな 4510（仕事）を解決する使命を持っているのです。

本人が不退転の覚悟でその解決に臨むならば、天は必ずや蔭でサポートしてくれるのです。「天は自ら助ける者を助く！」は真実なのであり「全身全霊をかけて・・・」とはそのことを言っているのです。

・全身全霊をかけて、やり遂げられない課題は、現れないので、100%信じて魂の良心に従って生きてまいりましょう。仲間が沢山いますよ・・・・・・・・

2) 明るく楽天的に課題を通過する・・・楽観的ではなく

・大成の条件は「素直・自己責任・謙虚」なのですが、天は自分たちが役立っていると観じることが最高の喜びなのです。

どんな困難な時も必ず解決する。朝の来ない夜はない。夜明け前が一番寒い。と前向きに考えて忍びチャンスを待つのです。

・人々の共感と支持をもらうには、その人の波動が暖かいオーラを出して

いて、その人から「勇気と希望」を受けとれるかで、ネットワークが広がって行くのです。

ビジネスでも同じですね。お客様が真の幸せを覚え、感謝して代金を払ってくれると人の環は広がりますね・・・・・・

* 自己に内在している「力」信じきれば、必ず乗り越えられます。

頑張りましょう！！ ありがとうございます。

* * 「理念経営実戦のすすめ」第3章-4 心と経営・・83 参照

<https://rinenkeieishi.net/media/index.html>

* 理念経営とは

<https://rinenkeieishi.net/about/index.html>

* お問い合わせ・◆本「理念経営実戦のすすめ」を無料で提供いたします。

(ただし、送料として100円だけご負担ください。)

<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>

はやぶさ2のご愛読ありがとうございます。

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

HosBiz ミロク朋の会セミナー（Zoom セミナー・無料）を07/20(火)
18:00～19:30 に開催させていただきますので、「魂の同窓会」で
同朋との交友をお楽しみいただけたらと思います。

つきましては、詳細をホームページに掲載させていただいております
ので、ぜひご確認ください。

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf_1_190.pdf

~~~~~

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

【1】 #506号・・・・21・07・09(金)・・・・バックナンバー

[https://rinenkeieishi.net/mail\\_magazine/hayabusa.php](https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php)

~~~~~ 次回予告 ~~~~~  
皆様のコメントを励みにして、航海を持続いたしますので、重ねてご支援
ご鞭撻をよろしくお願いします。

◆次号 第508号は、

第2章「理念経営の実務と実際」を5回シリーズでお届けしています。

第5回「風の時代と人時生産性UPの具体策」を解説いたします。

21・07・23(金) 著者：Captain 平本 靖夫 で、お届けします。

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。
では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・Captain 平本 靖夫

◆編集長・・・・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センター 執行役
員

マーケット・クリエイター(MRC)・・・・CST 開発推進責任者
プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#iwashita>

◆お問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本 靖夫、 編集長：岩下 一智 MRC

◆本「理念経営実戦のすすめ」を無料で提供いたします。

(ただし、送料として100円だけご負担ください。)

<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>

*配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックし
てください。

`--stop--`